

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
平成 27 年度 第 3 回理事会 議事録

開催日時：平成 27 年年 8 月 28 日（金） 18:30～

出席者：兼子、浅野、藤井、帖佐、武藤、松浦、関、大西、可児、和田、近藤、白井、森本、渡辺

欠席者：諏訪、柴、多和田、鈴木敦、青木、山岸、高崎、森、鈴木満、太田

議長：兼子

議事録：藤井

【連絡事項】

1 日臨技より

藤井庶務部長より

日臨技助成金について。

- ・市町村等が実施する健康イベントの協力・参画は助成金の対象にならない。
- ・生涯教育助成金は、平成 27 年度より 1 研修会につき、定額 2 万円＋参加者 1 人あたり 500 円（最大 5 万円）を、最大 20 研修会までとなる。近藤学術部長より追加説明があり、助成金を申請する場合、各部門長が予算書を提出、日臨技で審議して承認されれば、研修会終了後決算書を提出することになる。

日臨技から会費の送金が 170,000 円、入会金 6,500 円、合計 176,500 円あったとの報告があった。会長より現在会員は 801 名いますとの発言があった。また、平成 27 年度定時総会議決権行使書回収委託費の送金が 21,900 円あった。

昨年に引き続き「地域ニューリーダー育成研修会」が開催される。30 代後半から 40 代が対象であるため、兼子会長よりの関理事に参加をお願いした。交通費は日臨技から支出あり、宿泊費、食費は岐臨技が支払うとの発言があった。

「都道府県精度管理調査結果の施設認証申請用印刷」JAMTQC のシステム登録についての依頼があった。精度保証施設認証の申請が可能な施設は、申請書類の印刷がシステムから行えるよう改良したとのお知らせがあった。

兼子会長より

宮島会長が来年 7 月の参議院選挙に出馬する事になった。何をしたら良いか今の所まだ不明だが、自由民主党に 1,000 名以上の新規入党が必要であるようだ。とりあえず理事の皆さんには日技連に入ってもらいたいとのお願いがあった。岐阜県の日技連幹事

は北村 顕線前会長。また、公約を考えて下さいという要請があった。

2 岐臨技より

兼子会長より。

・岐阜県赤十字血液センターより、「岐阜県輸血療法講演会」の後援名義使用についての依頼があり期限が短かったため了承した。ホームページに上げた。事後承諾となったが、承認を得た。

・飛騨地区の山岸理事の退任について、今後技師会としてどうするかを検討をした。鈴木法人対応部長より、臨時総会を開き登記をするのが正式な方法であるが、それは煩雑すぎるのではないかとの意見があり、山岸理事は欠席扱いとすることとした。山岸理事には了承を得たとの報告があった。

3 地区報告

岐阜地区

帖佐理事より報告。

・6月14日に春季拡大研修会をふれあい会館にて開催。参加人数は102名で、市民公開講座では109名の参加があった。

・決算は、収入が参加費102,000円、広告協賛149,784円、収入合計251,784円、支出は、旅費交通費123,000円、支出は、交通費旅費123,541円、講師料17,2124円、製本代79,704円、印刷代51,000円、会場費63,930円、景品代83,000円、その他で支出合計は575,478円、トータル323,694円の赤字となった。

・市民健康まつりが平成27年11月8日に行われるため、予算案の報告があった。企画は、尿検査、尿中ピロリ抗体検査、血管年齢検査、頸動脈エコーを行う。例年どおり予算案でダイナパルス3台32,400円、消耗品98,430円、食費45,000円、日当40,000円合計215,800円になります。エコーは無償となる。交通費はまだ含まれていない。予算が承認された。

西濃地区

・平成26年2月19日に西濃地区総会を行った。

・平成26年度活動報告として、平成26年6月1日（日）に岐臨技春季拡大研修会・定時総会を、CKDをテーマとして行った。西濃地区役員の確認と、大垣市民の健康広場、HIV予防啓発活動、岐阜県医学検査学会について報告があった。

・今年は岐臨技の検査と健康展を西濃で開催、協力要請があった。

・第1回大垣市健康広場打ち合わせ会議を平成27年6月3日（水）に行った。健康広場の開催日は平成27年10月18日（日）、会場は大垣城ホール。企画は、血管年齢測定・骨密度測定、血管・血液検査、成人病についての説明・展示。

- ・予算書として、血管年齢測定（フクダ電子 ダイナパルス 2 台）32,400 円、骨密度測定（日本光電ビーナス 1 台）3,500 円、配布用物およびその他 2,600 円、人件費 9,000 円、交通費 6,600 円、弁当代 11,000 円 合計 65,140 円との報告があり、企画と予算について承認された。

中濃地区

藤井理事より報告。

- ・平成 27 年秋季拡大研修会第 1 回実行委員会を平成 27 年 7 月 10 日に開催。拡大研修会の、日時：平成 27 年 11 月 15 日（日）、会場：岐阜医療科学大学、テーマ：糖尿病。参加人数：100 名を予定。
- ・講演は、生物化学分析部門 大垣市民病院 糖尿病・腎臓内科 医長 柴田大河先生「糖尿病治療薬の進歩」、病理細胞部門 岐阜大学大学院医学系研究科 宮崎龍彦先生「糖尿病のかたち」、市民公開講座では、鈴鹿医療科学大学 長村洋一先生「未定」。
- ・ランチョンセミナー2 社 積水メディカル株式会社 演題未定、サクラファインテック ジャパン株式会社「標本作成をサポートする全自動薄切装置とはどうあるべきか」。
- ・予算（案）、収入が、広告費 10 社で 100,000 円、参加費 70 名で 70,000 円、支出が、印刷費 90,000 円、製本費 100,000 円、講師等謝礼（3 名）130,000 円、講師旅費交通費（3 名）30,000 円、弁当代 70,000 円、日当 20,000 円、旅費交通費 10,000 円合計 280,000 円の赤字となるとの報告があった。企画・予算案について承認された。

4 学術部

- ・平成 27 年 11 月 7 日（土）に行なわれる、臨床血液部門研修会は企業講師による「採血業務における基礎的な注意点」と「DIC 判定基準 暫定案について」と、「凝固検査を行う技師が知ってほしい知識」は三重大学医学部附属病院 中央検査部の下仮屋雄二先生の講演。外部講師料は 1 万円、交通費が三重県からの計算となる。外部講師料について承認された。

5 精度管理事業部

多和田部長欠席のため近藤部長より報告。

- ・第 1 回会議を平成 27 年 8 月 21 日（金）に岐臨技事務所にて開催。精度管理調査参加施設は 72 施設で、昨年より 1 施設増加した。うち医療施設は 56 施設で昨年より 1 施設増加した。
- ・フォトサーベイ画像の上にカーソルを合わせると、回答のヒントとなるリンク先が表示される問題があり、今後検討が必要である。
- ・資料発送作業の打ち合わせを行い、今後のスケジュールの確認をした（①試料発送～⑭報告会までのスケジュール）。

- ・精度管理調査参加費の請求書や見積もりを WEB から発行する際、岐臨技の公印が印字できるように設定した。費用 5 万円であった。
- ・資料の配布案内は定期便で送り、資料と同封する文章は納品書のみとなった。報告会のスライドは今年度も統一した形式を使う。

6 組織調査部

- ・平成 28 年度春叙勲について、大橋繁夫氏を推薦した。岐阜県からの推薦書類も提出した。
- ・公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣賞候補の推薦の依頼があった。条件は検診事業に 20 年以上携わり、年齢が 50 歳以上。9 月までに提出しなければならないため、該当者を臼井組織調査部長に連絡する。
- ・「検査と健康展」の進捗状況の説明があった。

企画内容は、生物化学分析部門は、メタボリックシンドロームについて説明と、唾液アミラーゼモニターを利用した体験型ストレスチェック。臨床生理部門は、超音波で体の中を見よう。臨床微生物部門は、顕微鏡を用いて口腔内常在菌を見てみよう、PC で手洗い啓蒙。臨床血液部門は、貧血の検査と血球の説明をパネルで説明。病理・細胞部門は、顕微鏡で正常細胞と癌細胞を見てみよう。輸血細胞治療部門は、輸血と血液型。臨床一般部門は、擬以尿による尿定性測定と尿検査の説明。

日臨技から、臨床検査技師の紹介（日臨技から配布される試料）と DVD 上映。

健康相談は、専門医による健康相談で、現在日臨技に申請中で、医師が決まりしだい連絡がある。

健康チェックでは、血管年齢測定、骨密度測定、生活習慣病のチェック、SAS チェック、脳梗塞チェックを行う予定。

リーフレット配布は、日臨技からの臨床検査技師の紹介、乳癌・HIV・生活習慣病など。

現在手配済みの機器は、顕微鏡 5 台でレンタル料金が 1 台 12,000 円。対物レンズは 100 倍、200 倍、400 倍を準備する予定。尿定性自動分析機器は 2 台まで可能。

各部門のスタッフ以外の実務者がいないため募集したが、2 名の応募しかなく、理事の中からの協力要請があった。

検査と健康展の助成金を獲得には、2 ヶ月前までに申請をしなければならないため、各部門に 9 月 15 日までに必要物品と予算の提出をお願いした。

ポスターはテープで貼るが、パネルなどの重いものは、衝立が必要なので早めに連絡が欲しい。

後援依頼は、医師会と教育委員会を考えているとの報告があった。

骨密度、血管年齢を行うために臨時的診療所を開設しなければならないので、西濃保健所に許可申請する。申請に 12,000 円かかる。開設に当たって、担当医を探さないといけない。臨床検査専門医会から派遣される医師は担当医にはなれない。

学校には案内を行った。高校は進路指導課に行き、中学は教育委員会に許可を得て、校長先生に文章を出すため、現在文章を作成中。

岐阜県の検査技師学校2校に案内を行う。

会場の担当社との打ち合わせを行った。

全員でシミュレーションを行う事は難しく、参加可能な者だけで行いたいと考えている。会場が狭くシミュレーション前に各部門の配置を考えて欲しいとの要望があった。血液センターから借りるパネル等には依頼書が必要で、輸血細胞治療部門と相談が必要。

会長より検査と健康店は今回初開催で皆さんの協力が必要との発言があった。

来年度の担当者候補を考えて欲しいとの意見があり、各地区で協力をお願いした。

7 広報宣伝部より

・ホームページのリニューアルで、トップページは綺麗になったが、二次のページは以前のものが表示される。すべてのページをリニューアルには434,160円の見積となった。今後行うかどうかは技師会で決めて欲しいとの報告があった。

・広報誌に掲載するため、中部圏支部学会の発表者氏名と演題名を教えてほしいと要請があった。浅野副会長より広報部長に知らせる事となった。

・広報部長も写真を撮影予定であるが、他にも写真を撮られた方があれば、ファイルに演者名を入れて事務所まで送るよう要請があった。

8 会計部より

兼子会長より報告があった。

・中間決算を行う方向で考えているとの報告があった。

9 庶務部より

・定時総会議事録を3部作成した。1部は県に提出のため、1部は技師会に保管するため。1部は予備のために作成した。兼子会長より議案書と議事録を岐阜県医療整備課に提出したとの報告があった。


10 その他

・帖佐理事より中部圏支部学会のスライドを開催1ヶ月前に提出することになっているが、早すぎるとの意見があった。動画が入っていると動かない場合があること、データの破棄の問題もあり、当日PCを持ち込む学会が多くなってきているとの意見があった。

・臼井組織調査部長より、岐阜県臨床検査技師会の沿革がわからない、50周年史と60周年史の整合性が取れない、会長がいつからいつまでとか、会員も50周年史と60周年史では違い、規定もいつ変わったかわからず、今後表彰を受ける際、国へ報告する時に困

るのではないかとの意見があった。60周年史を作ったのは東濃厚生病院の木村先生から資料をいただければとの意見がでた。25年史があれば教えて欲しいとの意見があった。

・兼子会長より、8月に検体採取指定講習会の実務を兼子会長、近藤眞一理事、佐藤恵彦会員で行ったが、日臨技から宿泊代が出ないので、岐臨技から出していただくよう要請があり、承認された。また平成28年2月の検体採取指定講習会の実務が岐阜担当であると報告があった。

議長 兼子 徹 

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 渡辺新司  印